

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス のこスタイル平岡			
○保護者評価実施期間	2024年 11月 5日 ～ 2024年 12月 7日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33名	(回答者数)	27名
○従業者評価実施期間	2024年 11月 5日 ～ 2024年 12月 7日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様が、大きな悩みではなく日々の生活の中でのちょっとしたことへの相談ができ、都度気持ちの整理ができています。	来所してきた時の表情や言動の観察や、他の利用者様からの情報などから、小さなことも拾うようにしています。こちらから話せそうなきっかけを作っていくよう意識して関わっています。	職員間で情報を共有しながら、一人一人の困り感を把握し、その子が話しやすいタイプの職員が相談にのれるような体制を整えていきたいと思っています。
2	思春期ならではの感情や、気持ちの葛藤への寄り添い。適切な言動に対して本人が考えていけるような支援。	大人の思いだけではなく、先輩も含めた中で気持ちの共感やアドバイスなどのやり取りをしています。長期休みには、卒業生をお招きして座談会を開催したり、保護者様の困り感をお聞きし、グループワークなどで子ども達が自分で考える場を設けています。	保護者様との対話から、利用者様にとって「誰のどんな言葉なら響くのか」を職員間で考えていきます。思春期の素直になれない感情に寄り添っていきけるよう、周りの大人の関わり方について職員間で話し合う時間を大事にしていきたいと思っています。
3	二部制によりメリハリつけて通所することができ、得意な活動に参加することで気持ちが前向きになり自主性に繋がっていること。	二部制にすることで、利用しやすい環境ができていると思います。興味のある活動に参加することで自信に繋がりがやすく、自信がつくことによって、自分の思いを伝えたり自主的な行動を促しています。長期休みには、自分たちのしたい事を実現できるよう、普段から取り組むべきことにはしっかり取り組んでいただいています。	各活動で、マンネリ化しないよう大きな目標（パソコン活動では資格にチャレンジするなど）を提示したり、興味の幅が広がるような提案をしています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人員配置	通常は問題ない配置人数でも、思春期で気持ちの行き場がなくなる日もあり、個別に対応しようと思うと余裕がなくなる場面もあります。	職員だけではなく、同じような経験をした先輩に話を聞いてもらうなど、利用者様同士の関わりを持つなどの工夫はしています。
2	長期休みなど行事の時の欠席等による利用児童の減。	思春期や不登校などにより、その日の不調で欠席児童が多い日があります。	見学などは〇名以上などの制限があるところもあるので、なるべく制限のないところを選んだり人数に左右されない行事を組んだりしています。
3	職員の対応力	思春期＋発達特性により、偏った思考が見られる事があります。	本人にわかりやすい伝え方・言い回しなどを探り、伝わらなければ対応する職員を交代したりしています。研修等でも対応力を養っていけるよう努力しています。